地域だより

北恩加島地域
まちづくり実行委員会

みんなの声を聞き、より良いものへと



「あ!こども食堂の人や!今月のメニューなにー?」と声を掛けてくる小学生。道端で地域の人とそんな会話ができるって、なんかいいですよね。きたおかこども食堂は毎月1回開催しています。曜日は決めていません。理由は、宿題カフェの時に子どもたちから「曜日が決まっていると習い事などで参加できない」との声があったからです。



そしてボランティアさんの予定も聞きながら日程を決めるというやり方になりました。曜日を決めていなくても毎回100人を超える方が参加してくれ、大盛況です!幼児から高齢者まで幅広い世代の参加があり、ただ食事をする場ではなく世代間交流の場にもなっています。

メニューはボランティアで話し合ったり、子どもたちからリクエストアンケートを取ったり、寄付でいただいた野菜や食品などを見て決めているため、メイン以外は当日に決めることも。7月も北恩加島小学校から子どもたちが育て、収穫してくれたたくさんの野菜の寄付があり、決まっていた麻婆豆腐丼とスープに加え、急遽6種類の小鉢を作り、そこから2種類選んでもらうという定食屋スタイルに。選べる楽しさもあり参加者の方にはとても好評でした。



北恩加島地域のいい所はいろんな人の声を聞き、良い意見はすぐに取り入れ実践するところだと思います。そのためには意見を言い合える雰囲気づくりもとても大切で、ボランティアはもちろん、参加者の方にもどんどん意見を言ってもらえるように、これからも頑張っていきたいと思っています。